

平泉寺地区 市長と語る会 議事要旨

日 時	令和6年6月1日（土）午後7時00分～午後8時20分
場 所	平泉寺まちづくり会館
出席者	24名

Q：質問 A：回答

1. 平泉寺の御開帳について

Q：来年、平泉寺白山神社の御開帳に向けて白山神社奉賛会を実行委員会として準備している。昨年ポスターを制作したが、市と奉賛会のものでかぶってしまった。今年は市で作ることになったが、すぐにできないと言う。できるだけ早くやってほしい。

A：すぐやるよう指示する。

2. 平泉寺の景観について

Q：観光バスで平泉寺に来る人が多いが、平泉寺へ向かう道路の木が生い茂っており、バスに傷がつくのではないかと気になる。

A：実態を把握して対応したい。

3. 観光の産業化・稼げる農林水産業について

Q：「観光の産業化」や「稼げる農林水産業」について市の取り組み事例はどういったものがあるか。

A：「観光の産業化」については、観光を産業としてとらえ、収益を上げられるような形を市としてもやっていくという取り組みである。例えば飲食店等へ改修費用を助成したり、土産物等を販売する施設、例えばジオターミナルや道の駅の整備、民泊の施設への助成などに取り組んできた。「稼げる農林水産業」は、水路の改修や基盤整備、トラクター整備への補助などがある。生産に限らず売の部分についてもしっかり補助したい。米を例に上げると、道の駅では勝山の米だけを販売にするようにしたりしている。米以外のものに挑戦している若者がいるので、令和8年春の中部縦貫自動車開通に向け、自動車で来る人に対し農林水産物を提供し、農林水産業者が稼げるように取り組みたい。

4. 鳥獣害対策について

Q：県の補助だと思うが、令和7年度から山際5～10mの電気柵設置以外は助成から外されることになった。我が区では耐用年数等を考慮しながら、来年更新を予定していたのに、いきなり補助を外されて困惑している。また、令和5年度に鳥獣緩衝帯整備の申請をしたが、未だ返事もない。鳥獣害のことをどのように考えているのか。

A：今後対応していきたいと考えている。県の事業が来年からスキームが変わるということは農林課の方に連絡があり、地元には迷惑がかからないようあらかじめお伝えしたのだと思う。県へ話をしたり、すぐにはお返事できないが、市で支援する方法も含めて考えていきたい。

5. 企業誘致について

Q：若者が定着しない理由として働く場所がないことにあると思う。企業誘致の状況を教えてほしい。

A：勝山市の有効求人倍率を見れば、働き手が不足している状況である。若い人が働きたい職場がないというが、それを満足させるのは困難である。製造業や運送業、介護の分野では職場があるが、限られた職種の中ではマッチングが上手くいかない。今はサービス業が伸び筋だと思っている。今誘致している企業について具体的なことは申し上げられないが、交渉を続けていることはお伝えしたい。

6. 耕作放棄地について

Q：村では空き家や耕作放棄地も増えている。特に耕作放棄地については、高齢者だけでは維持管理が困難になっており、市の支援について教えていただきたい。

A：耕作放棄地については、集落で話をしたり、新たに村へ入ってくれる人を探したり、情報を収集しながら進めている状況である。ただ、しっかりとした処方箋がないのが事実である。

7. 保育園について

Q：公立の保育園が廃園になったが、その後の管理地の管理はどうするのか。

A：施設利用について公募をかけたいと考えている。議会との協議を要するが、夏までにはしたいと思う。空き家で取り壊すことは考えていない。

8. 小学校の再編について

Q：今後、小学校の統廃合も想定されると思うが、基準はあるのか。

A：これまでの小中学校のあり方検討委員会において、小学校は地域のつながりが強い地域を優先するという方針となった。市から統廃合について進めるとは言わないし、今のところ基準を設けることはない。

9. バスのフルデマンド化について

Q：バスのフルデマンド化が令和9年にはなるとの話だが、電話の予約が難しいと話を聞く。デジタル機器での予約になると思うが、高齢者にも使えるものを考えてほしい。

A：高齢者になると難しいものが、AIの活用で補完できると考えている。荒土のスタートを機に、使いやすいものになるよう考えていきたい。